

# 建設経済常任委員会記録

令和5年8月10日（木）

場所：鳥栖市議会 第2委員会室



## 令和5年8月10日 日程

日次	月日	摘要
第1日	8月10日(木)	<p>報告（建設課、維持管理課、都市計画課、国道・交通対策課、農林課、商工振興課）</p> <p>令和5年度梅雨時期の大雨による被害状況について 〔報告、質疑〕</p> <p>所管事務調査</p> <p>観光拠点整備（河内ダム周辺整備、各施設の連携等）について</p> <p>産業政策（新産業と雇用の創出、産業振興等）について 〔説明、質疑〕</p>

## 1 出席委員氏名

委員長 久保山日出男

副委員長 西依義規

委員 小石弘和

委員 齊藤正治

委員 江副康成

委員 池田利幸

委員 野下泰弘

## 2 欠席委員氏名

なし

## 3 説明のため出席した者の職氏名

経済部長兼上下水道局長 宮原信

経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長 古沢修

商工振興課参事兼課長補佐兼商工観光労政係長 樋本太郎

商工振興課企業立地係長兼産業団地推進室産業団地推進係総務主査 香月啓介

農林課長 楠和久

農林課農政係長 脇弘人

農林課長補佐兼農村整備係長 中垣秀隆

建設部長 中島勇一

建設課長兼スマートインターチェンジ推進室長 三澄洋文

建設課長補佐兼庶務係長 下川広輝

建設部次長兼維持管理課長 大石泰之

維持管理課長補佐 山下美和

維持管理課長補佐兼管理係長 江藤誠

維持管理課維持係長 天本清二

建設部次長兼都市計画課長兼駅周辺推進室長 向井道宣

#### 4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主事 赤司和広

#### 5 日程

報告（建設課、維持管理課、都市計画課、国道・交通対策課、農林課、商工振興課）

令和5年度梅雨時期の大雨による被害状況について

[報告、質疑]

所管事務調査

観光拠点整備（河内ダム周辺整備、各施設の連携等）について

産業政策（新産業と雇用の創出、産業振興等）について

[説明、質疑]

#### 6 傍聴者

なし

#### 7 その他

なし



おはようございます。建設課でございます。

まず、1ページをお願いしたいと思います。

建設課から、排水機場の稼働状況について御報告をさせていただきます。

まず、当日の雨の状況でございます。

こちらにつきましては、7月7日の午前10時から、7月10日の午後9時までの総雨量といたしまして432.5ミリ、最大時間雨量は、7月9日の午前10時で54.5ミリとなっております。

警報の発令状況でございますけれども、7月8日の午後2時5分に大雨警報（土砂災害）が発令され、翌9日の午前10時34分には、大雨警報（浸水害）と洪水警報が発令されました。

その後、同日の午後12時15分に警報の解除がございましたけれども、翌10日の午前3時25分に、改めて大雨警報（土砂災害、浸水害）と洪水警報が発令をされております。

市内の排水機場の運転状況でございます。

こちらにつきましては、轟木川排水機場、前川排水機場、蓮原排水機場、下野排水機場及び沼川排水機場、5か所の稼働を行っております。

おおむね20時間以上の連続運転を行って、円滑な排水に努めたところでございます。

以上、建設課の説明を終わります。

#### **大石泰之建設部次長兼維持管理課長**

続きまして、維持管理課関係分の災害状況の説明をいたします。

2ページをお願いいたします。

今回の大雨に伴う市道関係の災害箇所の一覧表でございます。

現時点で35か所ございまして、このうち、表の1番から5番までの5か所につきましては、一定以上の災害被災規模を有することから、国の公共災害復旧補助事業として計上するために、現在準備を進めているところでございます。

その他の箇所につきましても、早期の復旧を目指して、順次工事を進めているところでございます。

3ページは、被災35か所の位置図でございます。

4ページからは、主な被災箇所の写真を掲載しております。

4ページの鳥栖駅東4号線、虹の橋のスタジアム側でございますけれども、こちらにつきましては、7月3日の大雨により、スタジアム側エレベーターの昇降路内のピット、図面で青色で着色している箇所でございますが、こちらに雨が流入したことから、昇降機が故障したものでございます。

虹の橋は、JR鳥栖駅の東西エリアをつなぐ連絡橋であり、早急な対応が必要であることから、県との協議の上で緊急修繕を行った結果、7月19日に復旧をいたしております。

次の5ページ、6ページにつきましては、立石・御手洗滝線、それから、7ページは山浦町の宮の下5号線、8ページは牛原町の四阿屋・筑紫神社線で、いずれも道路ののり面が崩壊しており、国の災害復旧事業の対象になるものと考えております。

続きまして、9ページから12ページにかけては、いずれも道路の一部が損傷を受けたものでございまして、比較的規模が小さいことから、単独災害復旧事業の対象として、今後工事を進める予定といたしております。

その他、斜面の崩落による道路閉塞や水路護岸の損傷等が発生した箇所につきましては、応急的な対応を行っているところでございます。

以上、報告といたします。

#### **向井道宣建設部次長兼都市計画課長兼駅周辺推進室長**

続きまして、都市計画課、公園関係でございます。

13ページをお願いいたします。

箇所につきましては、朝日山公園、新鳥栖駅北口側から約100メートル程度上ったところののり面が崩壊しておりまして、土砂が流出しております。

これにつきましては、土砂を撤去いたしまして、上部にある樹木についても伐採し、現在、完了しているところでございます。

なお、道路側溝につきましても破損をしておりましたので、その箇所についても修復をしているところでございます。

以上です。

#### **舟越健策国道・交通対策課道路・交通政策係長**

国道・交通対策課関係分について御報告いたします。

資料14ページをお願いいたします。

まず、公共交通関係でございます。

まず、ミニバスにつきましては、大雨に伴う道路冠水、通行止めにより、部分的な運休が発生いたしました。

7月10日月曜日ですけれども、この日が運行日でございました、鳥栖地区循環線と旭地区循環線につきましては、まず、朝一番目の9時発の1便につきましては、運行ルート of 安全確認のために運休をいたしました。

その後、鳥栖地区循環線につきましては、2便、3便がルートの一部が通行止め——資料の右上にあります地図の鳥栖地区循環線ですけれども、そちらの真木町公民館バス停のところを迂回するような形で、部分的な運休が出てます。

その後、4便以降は通常運行となっております。

旭地区循環線につきましては、2便以降——資料右側の地図ですけれども、於保里と不動島間と、県道中原鳥栖線のJRのところをくぐるアンダーのところは通行止めとなっておりますので、2便についてはその部分の影響で運休となっております。

その後、3便以降につきましては、通常運行ということでしております。

続きまして、路線バスについてです。

県道九千部山公園線の路肩崩落によりまして、そこを走っております河内線の運行に影響が出ておりました。

資料14ページ下の左の地図の箇所、天神木橋を越えて河内のバス停、市村自然塾に向かう途中の道のところ、左側のほうが崩落しております。

その影響に伴いまして、まず7月10日につきましては、運行しております西鉄バスの判断によりまして、河内線の松本と東橋で折り返し運行ということでしております。

7月11日以降につきましては、もうちょっと上ったところになりますけれども、市民の森と河内ダムバス停のところ折り返し運行というふうにしておりました。

その後、土木事務所の災害復旧工事が8月3日に完了いたしましたので、8月3日の15時24分の鳥栖駅前を発車しますバス停から通常運行となっております。

次に、15ページをお願いいたします。

災害関係でございます。

九州新幹線の変電所の南側に、市のほうで緩衝緑地を持っておりますけれども、そちらののり面のほうが崩落をいたしております。

地図につきましては、この資料の左側で、変電所の南側のところに緑地がございまして、そちらのさらに南側に民間のお宅があるようなところですが、そちらのほうは崩落をいたしております。

こちらにつきましては、その判明後、8月4日に土砂搬入を終えて、現在は復旧している状況でございます。

以上、国道・交通対策課分の報告でございます。

#### **久保山日出男委員長**

この際でございますので、この件についての質問のある方はお願いいたします。

#### **西依義規委員**

2ページの10番の鎗田町の水路閉塞、民地内流入ってというのは、どういう事故だったんですか。

#### **天本清二維持管理課維持係長**

これは、大木の交差点付近にあります大木川付近の家が低いところなんですけれども、そこに河川からの水と土砂が流入しております。

対策としては、土のうを置いたりして、浸水しないような形で対応しております。

**西依義規委員**

さっきの県道のほうのバスの路線のやつ、14ページ、これは、たった1か月でこれだけちゃんとなる？それとも、仮でやってるんですか。

**舟越健策国道・交通対策課道路・交通政策係長**

こちらは仮復旧でございまして、あくまでも全面ではなくて、片側交互通行できる程度の4.5メートルプラスアルファぐらいの道路を取れるような形での仮復旧でございまして。

今後、本復旧の工事が県によってなされます。

**久保山日出男委員長**

ほかによろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

以上で建設部からの報告を終わります。

次に、経済部からの報告を行っていただきますので、準備のため暫時休憩いたします。

**午前10時18分休憩**



**午前10時21分開会**

**久保山日出男委員長**

再開いたします。

次に、経済部からの報告を行っていただきます。

説明を求めます。

**宮原信経済部長兼上下水道局長**

6月の下旬から7月の中旬にかけて降りました大雨によります被害状況につきまして、御報告をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

**楠和久農林課長**

それでは、配付しております資料に沿って説明をさせていただきます。

2ページをお願いします。

災害のあったところの地図をつけさせていただいております。

左上のほうに凡例をつけておまして、種類ごとに色分けをさせていただいております。

その中で、グレーで網かけをしているところについては、既に対応済みとなっているところがございます。

3ページをお願いします。

3ページから5ページまでが、それぞれの災害の内容について記載しているものでございます。

まず、3ページでいきますと、林道の分、公共、単独と分けておりますが、公共につきましては、国の補助対象となるもの、単独については、国の補助対象とならないもの。

境目につきましては、40万円以上かどうかが境目になります。

ですので、40万円未満のほうは、市の単独事業で行うものになります。

同じく4ページも、これは農地、農業用施設ですけれども、公共と単独、それぞれ記載させていただいております。

現在でいきますと、農地、農業用施設のほうは、地権者及び管理者等の申請が必要となります。

当然、受益者負担も発生しますので、申請いただいてから事業着手するようになります。

このうち、単独については、幾つか既に工事を終わってるものもございます。

今後につきましては、林道、農地、公共分について、現状の現計予算と予備費を活用しながら、設計委託を行う予定としております。

その設計委託に基づいて、公共分事業費につきましては、基本的に12月補正で上げる予定としております。

6ページ以降に、公共分について、現況の写真を、それぞれ農地分と林道分と掲載をさせていただいているところがございます。

簡単ではございますが、以上で説明とさせていただきます。

#### **久保山日出男委員長**

この際でございますので、この件に関して質問のある方はお願いいたします。

#### **西依義規委員**

2ページの地図で、青丸とか黄色丸、緑丸があるんですが、青丸の農林地崩壊と、例えば緑の農地単独は、どういうふうに違うんですか。

#### **楠和久農林課長**

農林地崩壊は、基本的に、農地の下に、例えば、家屋があったりとか施設があったりとか、そういう被害、災害、下にある家屋とかが被災するというような区分になります。

農地というのは、農地そのものが被害を受けたという区分で、事業が異なりますので、こういった区分けをしております。

#### **西依義規委員**

ということは、裏山が崩れて、下に家があるみたいなのが、青丸ということですか。

**楠和久農林課長**

そのとおりでございます。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

よろしいですか。

**西依義規委員**

さっき、自己負担もあるみたいなお話があったんですけど、自己負担で現在、いやいや、鳥栖市のほうで持ってくださいよとか、その辺の折り合いとか、トラブルになってるとか、そういった案件ってあるんですか。

**楠和久農林課長**

現状、例えば、自己負担が幾らぐらいになりますよってというのが、大規模なところはまだお示しできてないところとかもありますけれども、金額に対して議員がおっしゃるような事案は、現状ではございません。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

**小石弘和委員**

牛原町の四阿屋・筑紫神社線、これはもう、以前から通行止めになっとるばってん、今回の崩落じゃないやろう。

8ページ、8番か。

**中垣秀隆農林課長補佐兼農村整備係長**

8ページの場所につきましては、林道の横井線になりますので、市道ではございませんで、林道になります。

**小石弘和委員**

いや、私が聞いているのは、今回の災害じゃないだろう、以前からの災害だろうと聞いているわけですよ。

**中垣秀隆農林課長補佐兼農村整備係長**

こちらは今回の雨による災害になります。

**小石弘和委員**

7月？（「はい」と呼ぶ者あり）

**池田利幸委員**

3ページ、林道の被害状況を載せてあるところで、毎回、委員会の中で災害のときに出てくるんですけど、九千部山の林道が要るのか要らないのかとかいう話になると思うんですけど、今回

の被災の箇所だったりとか、今まで、災害があって、復旧をずっとやってきていると思うんですけど、今回の箇所は、今までやったところが再び崩壊しましたとかそういう部分はないんですか。

結局、ずーっとお金を突っ込んでやってるんですけど、同じところがまた崩れていきよったら、いつまでたっても変わらないっていう話になるんですけど、その辺はどうなんですか。

新たなどころで、今までやった箇所と同じような箇所が出てきたりはしてないんですか。

#### **中垣秀隆農林課長補佐兼農村整備係長**

3ページの公共の2番目につきましては、九千部山7っていうところなんですけれども、こちらは、以前も被災して、一度復旧を行っている箇所になります。

#### **池田利幸委員**

じゃあ、あとは新しいところだっていうことでしょうかけれども、この7番にしても、公共災害のほうに入ってるってことは、40万円以上という、また結構お金を入れてやっていかなきゃいけないところ。

多分前もそうなんだろうから、やっぱり同じところがずっと崩れていて、そこに毎回多額のお金を入れてやっていくのもどうかなっていう部分、やるなら、やっぱり崩れないような——これは、前から言ってるんですけど、原状復旧だけではまた崩れますよっていうのは、もともと言ってるんで。

次、崩れないようにっていう部分も、国もそういう考え方を示したはずなんで、そこも今回、査定を受けてやるってことの中で、次、崩れないようにするためにはどうすべきかっていうのを、ぜひ考えていただければなと思いますんで、よろしくお願いします。

#### **久保山日出男委員長**

ほかに。

#### **小石弘和委員**

お伺いしますが、この林道の管理は農林課がやってるわけ？

#### **楠和久農林課長**

林道の管理は農林課で行っております。

#### **小石弘和委員**

この前、7月の県道が崩壊したときに、ずっと回って、基山で下りたんですけど、鳥栖と基山の間にも木が垂れ込んで、通行ができないような状況があるわけです。

そいけん、市の管理の分だけ、整備すべきではないかなと。

それで、結局あそこまで通れますけど、基山のところで通行止めしてるんですよ。

そこらの連携を、河内から下りて平等寺に行く道は、これは通れますから、やはり、基山と連携を取って整備していただいて、お願いをしたいと思います。

以上です。

#### 西依義規委員

先ほどの池田議員のところ、7ページの写真ですかね、おっしゃってるのは。

これは、今回の分析で、なぜ崩落したのか、で、どういう工事だったら次は崩落しないのかわかるような調査は、今からされるんですか。

今、もう大体分かってるんですか。

#### 中垣秀隆農林課長補佐兼農村整備係長

詳細につきましては、今から測量設計等を行っていくんですが、今、現地を確認して分かっている範囲としましては、この写真で崩壊しておりますところが盛土になっておりまして、もっとその谷側は、大型かごという石積みのような土留めで過去に復旧しております。

その石積みのほうは、変状はありませんで、上の盛土部分が崩落しております。

その要因としましては、道路の表面排水の処理等が超えて起きてしまったというところで考えておりますので、その表面の排水施設を設置するような形で、対応した工事を行っていくような計画になるのかなと思っております。

#### 西依義規委員

その表面排水というのは、周辺の水が全部ここに集まっているということですか。

#### 中垣秀隆農林課長補佐兼農村整備係長

そのような形で集まってきているのかなと。

今、側溝みたいな排水施設がございませんので、その辺りを今後、改良、復旧というか、そういう形で検討していきたいと考えております。

#### 久保山日出男委員長

それから、先ほど小石委員の質問の中で、町境と市境の連携について、答えられんやったらう。

答えたかな。その件に関しては。

小石さんの質問で、連携について言われたやろう。「要望してくれみたいな」と呼ぶ者あり）要望、それに一応答えて。

#### 楠和久農林課長

市町境の今御指摘があったところについては、検討させていただきたいと思います。

#### 小石弘和委員

いや、検討じゃなくて、まず、基山との町境の管理ですたいね。

そして、市の分のところは、通れるように、もう確実にやっていただきたいと。

木の垂れ下がった分。

基山からは那珂川まで行きますからね。

先は勝尾大橋の場所のところのトンネルまでは行けるんでしょう。

そこらは明確にしとかんと、非常にまずい面が出てくるんじゃないかなと。

そいけん、基山町と鳥栖市で、町境、市境のところまでは、両方とも検討しながら整備していただきたいというふうなことをお願いしてるわけです。

以上です。

#### **楠和久農林課長**

きちんと通れるように、基山町とも協議をしながら、対策をしてまいりたいと考えております。

#### **久保山日出男委員長**

ほかに。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

それでは、ないようでございますので、報告を終わります。（「報告が」と呼ぶ者あり）

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

報告事項のほう、商工振興課のほうもでございますので、この大雨による被害状況についてのページ数で言いますと5ページ、写真等は載せておりませんが、被災箇所といたしまして、商工振興課所管施設であります、杓子ヶ峰、それから、沼川河川プールについて掲載をしております。

なお、沼川河川プールにつきましては、土砂堆積につきましては、取り除きまして、現在は開設を行っております。

以上でございます。

#### **久保山日出男委員長**

この件に関して。

#### **小石弘和委員**

杓子ヶ峰ののり面土砂流出、遊歩道崩落。

これは一遍、1,000万円ぐらいかけてしたでしょう。

これは同じところが崩落しているわけですか。

現在、使用ができないというふうな状況でございますが、これは何か月も前から、そういうような状況が続いていると思います。

以上です。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

前回崩落をして補修をした箇所と、一部かぶってるところがございます。

で、8月10日の豪雨で通行止めということで、措置を行っております。

#### **久保山日出男委員長**



と思います。

資料のほうをめぐっていただきまして、2ページでございますけれども、観光拠点整備につきまして、現在商工振興課のほうにおきましては、四阿屋周辺整備事業を行っております。

この事業につきましては、県が実施をします四阿屋の河川整備事業に合わせまして、県と連携を図りながら、橋梁の設置やトイレの改修などを実施をしておるところでございます。

期間につきましては、令和3年度から5年度、3年間の事業と計画をしております。

事業費につきましては、御覧のとおりでございます。

事業内容につきましては、駐車場用地の拡幅のための購入、それから、トイレの改修、防護柵の改修、設置、橋の設置。

護岸改修につきましては、県事業で東部土木事務所のほうが行っているところでございます。

ページめぐっていただきまして、3ページでございますけれども、四阿屋周辺整備事業の現況について書いております。

用地購入につきましては、いずれも終わっておりまして、現在、駐車場なりで活用をしておるところでございます。

それから、橋梁設置につきましては、下部工が終わりまして、今年度、上部工を設置をいたします。

発注は既に終わっておりますけれども、そのための道路の迂回路の整備が完了しておりまして、現在はこの迂回路を通って行き来ができるという状況となっております。

橋梁のところに写真をつけておりますけれども、下部工の工事が終わっている状況の写真でございます。

それから、その左隣ですけれども、その他施設ということで、防護柵等を延長して設置をしたところでございます。

その左隣でございますが、トイレと書いておりますけれども、多目的トイレを追加をいたしまして、建て替えを行って、現在、遊泳場の利用者の方に使っていただいているという状況でございます。

ページめぐっていただきまして、4ページでございます。

鳥栖観光コンベンション協会のほうと連携を図りながら、観光事業を行っておるわけでございますけれども、観光コンベンション協会の主な取組といたしましては、観光イベントの企画運営。

主なイベントといたしまして、令和4年度実績に書いておりますけれども、まつり鳥栖、それから、長崎街道まつり、弥生まつりと実施したところでございます。

令和2年度、3年度につきましては、コロナの流行によりまして、中止等も行ったところがございますが、4年度につきましては、開催をしたところがございます。

それから、新鳥栖駅観光案内事業、訪れる観光客の方につきまして、観光案内や観光情報の発信、それから、物産の展示、販売等を行っているところでございます。

コロナ禍で、令和2年度、3年度落ち込んでおりましたけれども、コロナの規制緩和とともに、令和4年度、3万1,000人ほどの来場者があったところでございます。

次の5ページ目でございますけれども、その他の取組といたしまして、ボランティアガイドの育成、長崎街道やそれに付随します観光地、そのガイドをボランティアガイドさんがしておられます。

月に一、二回要望があつて、ガイドをされてるというふうに伺っております。

その方々の御意見を基にパンフレットを作成したりして、観光ルートの開発を行っているというところでございます。

ボランティアガイドの登録者数につきましては、10名となっております。

それから、連携にも関わってくるわけでございますけれども、勝尾城筑紫氏遺跡——教育委員会のほうでいろいろ事業を行っている部分もございまして、そこと連携を図りながら、PR事業を観光協会のほうでも行っておられます。

次の6ページ、こちらにつきましては、農林課のほうから説明をします。

#### **楠和久農林課長**

6ページをお願いします。

河内ダム周辺整備に関する取組でございます。

まず、河内河川プールについてですが、7月中旬から8月末まで開設をしております。

通常、県内外から1万人を超える利用者があつているところです。

老朽箇所等の改修をしながら、安心してお子さんたちが遊べる施設として、維持管理を行っております。

近年の工事費として、平成29年度から令和4年度までの整備工事にかかった費用を掲載しております。

次に、コカ・コーラボトラーズジャパン鳥栖市民の森でございます。

自然環境の保全及び魅力あふれる森づくりを推進するため、広場や遊歩道などの施設整備を推進しております。

年間を通じて、散策やピクニックなど自然環境を楽しむ市民の憩いの場として利用がされている状況でございます。

同じく、平成29年度から令和4年度までの工事にかかった経費を記載しております。

続きまして、栖の宿でございます。

平成29年度から30年度にかけて大規模改修を行いまして、施設の機能回復を行うとともに、休

養施設と宿泊施設を渡り廊下でつなげ、一体となった施設として利便性の向上を図っております。

また、オートキャンプ場の開設により、新たな利用者を確保できているところです。

令和4年度につきましては、オートキャンプ場の公衆トイレと洗い場、炊事場を改修し、キャンプを楽しむための環境整備を行っております。

同じく、平成29年度から令和4年度までの工事費を記載させていただいております。

続きまして、7ページをお願いします。

近年の利用状況を載せております。

キャンプ場につきましては、オートキャンプ場として利用を始めた平成30年度以降、かなり増えておりまして、現状、年間1万人を超える利用をさせていただいているところです。

河内河川プールにつきましては、令和2年度以降、コロナの影響で閉鎖をしておりましたが、今年度開設をしておりますので、現状まだ分かりませんが、コロナ前ぐらい、1万人程度の利用がされるものと考えております。

栖の宿につきまして、同じくコロナの影響で、令和2年度、令和3年度は利用者が減少しておりましたが、令和4年度については、コロナ前の令和元年度ほどまではいきませんが、現状、大分利用者が回復しているような状況です。

以上でございます。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

引き続きまして、8ページ、観光拠点整備として各施設の連携等という見出しの部分でございますけれども、各施設の連携に資するものをどのようなことをやっておるかということで、御紹介をしております。

まず、先ほど、観光協会の取組の中でも少し申し上げましたけれども、おすすめ観光ルートの開発ということでございまして、お手元にA4の紙でお配りしておるものが、観光ガイドと開発をした観光ルートのコースの1つになっております。

そういった形で、新鳥栖駅から河内ダム、大山祇神社、栖の宿、四阿屋、それから、葛籠城跡から新鳥栖駅というようなコースをつくったりとか、ほかの観光ルートのコースのパンフレットも別途ございまして、そういったものを開発といいますか、ルートを開発いたしまして、観光案内所等で案内を行っておるところでございます。

それから、資料のほうに戻っていただいて、8ページのほうですけれども、その下にグランドクロス広域連携協議会観光部会と書いておりますけれども、これは、本市と福岡市、久留米市、小郡市、基山町でグランドクロス広域連携協議会というものを構成をしております。

その観光部会という部会におきまして、構成しております市町の主に観光担当部署が集まっておるわけなんですけれども、コロナ禍前まで、九州各地の熊本であったり鹿児島であったり、そういっ

たところの大規模なイベントに出かけまして、各構成市町の観光地の案内、そういったものを行って、共同観光PRを行ってまいっております。

コロナ禍のときは、イベント自体が中止になってたものですから行っておらなかったんですけども、規制緩和に伴って各イベントも行われるようになってまいりましたものですから、活動といたしましては、再開することとしております。

ちなみに、昨年11月5日にサガン鳥栖のホームゲームで、対広島戦だったんですけども、アウェーのお客様向けに、共同観光PRを実施をしたところでございます。

その下でございますけれども、福岡の天神にございます博多大丸でございますけれども、そちらと情報発信の連携を行ってまいります。

本年の5月8日になりますけれども、博多大丸が九州探検隊なる事業を行っておられまして、九州内の市町村119市あるわけなんです、その119市から認定をもらうというような活動を実施をされております。

ですので、本市も情報発信アンバサダーといたしまして、博多大丸を認定したところでございます。

今後でございますけれども、同社と連携をいたしまして、同社のリソースを活用しながら、観光PRと書いておりますけれども、具体的に申し上げますと、博多大丸が天神にございまして、隣接してパサージュ広場というものがございます。

新館と本館をアーケードでつないだようなところでございますけれども、その部分につきましては、通常、使用する場合には高額な使用料が発生するわけなんです、認定をした自治体につきましては、無償で提供をしていただくということになっておりますので、そういった場所を使ってPRを行っていきいたいというふうに考えておるところでございます。

観光拠点整備につきましては、以上でございます。

#### **久保山日出男委員長**

ただいま説明がありましたので、この件に関して御質問のある方はお願いいたします。

#### **小石弘和委員**

8ページのおすすめ観光ルートの開発と出ておりますけど、新鳥栖駅、河内ダム、萬歳寺・大山祇神社、栖の宿……、私、今日報告を受けたんですが、大山祇神社の大きな紅葉の木が折れて、地滑りして、落ちてると。

私、見に行く時間がなかったからね。

向かって左側が折れて、そして、紅葉の木が落ちてるといふような報告を受けております。

そいけん、この観光ルートの目玉がなくなるんじゃないかなあというふうなことを思ったから。

今日、現場に行く時間がありませんでしたので。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

大雨の後に、私も実際に現場等を見て回ったときには、そういうふうにはなっておらなかった  
ので、その後に雨等でなったんだと思いますので、私も機会を見つけて、なるべく早く見に行き  
たいと思います。

ありがとうございます。

#### 久保山日出男委員長

言われた以上は機会を見つけてじゃなくて、あそこまでの距離やから、確認してよ。  
機会を見てじゃなくて。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

早急に確認をしたいと思います。

#### 久保山日出男委員長

ほかに。

#### 池田利幸委員

私も同じ、この鳥栖とりっぷのやつなんですけど、これは、出発が新鳥栖駅で、帰ってくるの  
も新鳥栖駅なんですよね。お帰りなさいって書いてもらってるんで。

基本的に、新鳥栖駅発の新鳥栖駅に戻る、で、車で移動です、で、所要時間はおよそ3時間で  
すって書いてあるってことは、新鳥栖駅から新鳥栖駅でつくってあるなら、よかったら、レンタ  
カー会社とかと連携……、じゃないと、これが新鳥栖駅発で新鳥栖駅に戻る意味がないんですよ  
ね。

観光等でいろんなところから来られた方が、新幹線で来ました、新鳥栖駅から出て新鳥栖駅に  
帰ってきますよっていう中で、車が要るっていう、レンタカー会社とかも近くにあるんで、そう  
いうところの連携とかも、ぜひ、図ってみてもらったほうが、新幹線で来てから、車で鳥栖市内  
移動できますよっていうようなPRになるかなと。

逆に、それがないと、これが新鳥栖駅出発で新鳥栖駅に帰ってくるという意味合いがちょっと  
薄くなるかなとも思うんで、ぜひ、そういうところの民間との連携とかも、観光協会さんを通じ  
てになるんでしょうけど、そういう部分も考えてもらえるとありがたいなと思うし、そのために  
は、道の整備というの、各部署との連携は要るんでしょうけど。

ぜひ、やるなら、僕は前から自転車のターミナルというか、を置いて、電気自転車とかでスポ  
ット、スポットで走らせるっていうのもいいんじゃないですかって言った部分もあるんですけど、  
そういうレンタサイクルだったり、レンタカーとか、そういう部分も加えてもらおうと、より  
一層使えるっていうか、活用が増えるんじゃないかなあと思うんで、ぜひ考えてみていただきた  
いなと思います。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

大変貴重な御意見ありがとうございます。

そういったものも参考に、また取り組んでまいりたいと思います。

#### 久保山日出男委員長

ほかに。

#### 江副康成委員

今回の御説明を聞きまして、アフターコロナといいますか、いよいよ鳥栖市の観光も動き出すんだなと思って、非常に方向性に関係してるところなんですけれども。

たくさんのお客さんに来ていただいて、鳥栖市のいいところを満喫していただきたいんですけども、これは昔からの話なんですけど、どこも駐車場無料ということで、多くの車が来る、そして、地域の方は、反対に車の混雑で非常に生活に支障を来すというところで、私も一般質問しましたし、あるいは、昔から地元と言われてるけれども、駐車場をある程度有料化して——それは地元の方も協力してやられるというようなことも、私の耳には聞こえてきますけれども。

例えば、環境維持整備費という形で1,000円取って、それに500円のクーポンをつけて、鳥栖市内でお金を落としてもらうとか。

何かそういうような、ソフトの施策も併せて進めていきたいというような、そういうところが今回の説明の中にあれば、もっとよかったかなあと思うんですけども、今後の方向性として、その辺りどう考えておられるのか、教えていただけないでしょうか。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

確かに、おっしゃられるとおり、一般質問もそのことで伺っております。

それで、各観光施設の駐車場につきましては、ほぼ無料のところでございます、そこを有料化にするっていう計画は、今のところございませんけれども、ソフト面で何かしら、おっしゃられたようなできることがあるのかなのか、さっき、500円クーポンとおっしゃられましたけれども、そういった取組ができるかどうかというのは、検討していく必要があるのかなとは考えております。

以上でございます。

#### 江副康成委員

工夫してやっていこうというところは、もう非常に歓迎はするんですけども、できれば早めにしてほしいということ及び駐車場は、今回、四阿屋のところの一部購入していただいとって、一体的に大きな駐車場になってるけれども、購入するというのは、それなりの費用がかかるかもしれませぬ。

でも、利用者が多い時期に、一時的に田畑とかそういったところを借りるとか、そういった、

費用がかからなくて、協力いただけるような形で進める方法もあるんじゃないかなとは思いますが、ぜひ、購入して駐車場をきちんと整備するというパターンだけじゃなくて、海の家等の砂浜が何かのときには駐車場になってるのと同じように、やれるところから柔軟に対応していただきたいというふうに思います。

以上です。

#### **久保山日出男委員長**

ほかに。

#### **野下泰弘委員**

このボランティアガイドさんですけど、実際にどれぐらいの方が活用されてるかっていうのは分かりますか。

#### **樋本太郎商工振興課参事兼課長補佐兼商工観光労政係長**

委員の御質問にお答えします。

ボランティアにつきましては、現在10名の方が登録をされてあると聞いております。

年に数回の研修、勉強会等を行っておるというふうに聞き及んでいるところです。

それから、活動につきましては、ボランティアの件数については、先ほど課長のほうから申し上げたとおり、月に一、二件の御要請があつてるところでございます。

以上でございます。

#### **野下泰弘委員**

ありがとうございます。

これ、どういった方が活用されてる……、本当に旅行会社と組んだわけでもないのに、これで来る人いるのかなっていうのが、まず一つ疑問と。

これは、新鳥栖駅の観光案内所のところにしか置いてないんですか。呼び込みのために、ほかの地域とかに置いてあるっていうものではないんでしょうか。

#### **樋本太郎商工振興課参事兼課長補佐兼商工観光労政係長**

現時点におきましては、こちらのマップにつきましては、新鳥栖駅の観光案内所、それから、市役所内に置かせていただいております。

加えまして、共同観光PRとか、サガン鳥栖のホームゲーム時に、おもてなしブースというものを設置させていただいております。

そういったところでも、置かせていただいております。

以上でございます。

#### **野下泰弘委員**

ありがとうございます。

すごく疑問で、新鳥栖駅の観光案内所に来た方がこれを見て、3時間、時間をつくって行くかっていうと、僕は絶対行かないと思うんですよ。

そうするのであれば、やはりどこかの旅行会社、鳥栖に来る前に計画を立てれるようなところに置いてないと、これは誰も行かないんじゃないかなと思うんですけど、ぜひ、旅行を組む前、旅行会社等に置いてないと、私自身、やっぱりこの3時間という時間は多分つくっては来ないと思うので、鳥栖に来る以前の場所、考える場所のところで活用していただきたいなと思います。

よろしくをお願いします。

#### **久保山日出男委員長**

今の件について、答えはない？

〔発言する者なし〕

#### **池田利幸委員**

同じところで何回も申し訳ないんですけど、車で行くのが前提という部分で、僕も車で行く初めてのところでは、ナビに入れていきますってなるんですよ。結局この地図見ても分からないんで。

で、ナビ入れるとき、僕だけか知らないですけど、名称とかじゃなくて住所で入れるんですよ。となってくると、どこどこに行きたいっていうとき、これを全部行かないとしても、ピンポイントでここに行きたいですっていうときに、じゃあ、ナビ入れようかってなるときに、住所がどこも書かれてないんですよ。

なんで、ちっちゃくでもいいから、せめてここに示してる場所は、車で行けるように住所なりは入れてやったほうが、まだみんな、じゃあ行ってみようかなという気になるんじゃないかなと思うんで、裏の小さいところに入れる必要はないんですけど、せめてこの1から7って振ってある部分だけでも、住所なり入れてやったらどうかなと思いますけど、いかがでしょうか。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

ナビの使い方には、特徴が各個人であるかと思いますが、そういった住所とか施設の電話番号とか、そういったものが載せられるように考えていく必要があるのかなというふうに認識をいたしました。

#### **久保山日出男委員長**

ほかに。

#### **江副康成委員**

今、鳥栖とりっぷに関して、いろいろアドバイスというか、お話があつてますけれども、勝尾城のところ付近にサクラツツジってあるじゃないですか。

あそこに来られる方は、のぼろっていう、登山する人がよく見る雑誌だとか、あるいはヤマツ

プとか、そういうところで、よく行かれる方の体験、こういうところがよかったよとか、そういうコメントを見ながら、行ってみようかなと思って行かれる方が結構多いんですよ。

それからすると、3時間でここ行ってみようかなという動機づけ的なところで、よくそういう形で旅をする人たちの体験談じゃないけど、コメントとか、そういうところの、よく引用されるところ、あれだっていうのを今言えるわけじゃないんですけども、探りながら、行ってよかったなというような、そういう体験談がいっぱい積もって、それがまた人を呼ぶというような、そういう取組ができるんじゃないかなと思うんで、ぜひ、そういった面の御検討をしていただきたいなという要望でございます。

#### **久保山日出男委員長**

ほかに。

#### **西依義規委員**

今回、この所管事務調査を開いた経緯というか、我々も、2年間でこの所管事務調査を報告なり、どういう調査をしたというものを議長に返すために、ここをあんまりやってなかったんで、今回させていただいたのに、いろいろ事前に私が聞いたのがあって、例えば、観光コンベンション協会の取組とそこから上がる要望などがあれば御報告くださいっていうのがまずあったんで、まず、そういった要望、例えば市にもうちちょっとここをこうしてくれとか、もうちょっとこれぐらいの予算があったらこういう企画をするんだよとか、結局、もう外注されてるんで、観光の取組がほぼほぼコンベンション協会に委ねられてると我々は思ってるんで、ここに幾ら言っても、なかなか反映されない。

その辺の、観光コンベンション協会も本当はこういう取組をしたいんだと、ただ、予算的にどうか、庁内の調整に時間がかかってるっていうのがあれば、まず教えていただきたいんですけど、何もないですか、声は上がってないってことですか。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

こういった取組を新たにやりたいからということで、御要望を頂くことっていうのはないんですけども、ただ、こういったことをやるよっていうことで、要望ではなくて、こういったこと取組をやりますとかいうことで、話をさせていただく、協議をさせていただくということは多々ございます。

それと、要望というものになるかどうか分からないんですが、各イベントの補助金については、物価高騰もございまして、上げてもらわないと、同じ規模のものっていうのはできなくなるよというような要望等は賜っているところでございます。

#### **西依義規委員**

向こうも気を遣ってあんまりしてないかもしれないけど、例えば、委託された範囲です——私

は、観光こそいろんな新しいアイデアが出る必要があると思うんですよ。

ほかの、例えば福祉とか、決まったことをやらないかん部署もしっかりあるけど、観光とかはやっぱり新しいことをどんどんどんどんやっていく必要があるのに、その入り口とか出発がどこなのかなあという気がして、例えば、市役所の商工観光労政系のほうから、観光に特化した職員がまずおって、その人が、近隣とか、例えば小郡市と連携するにも、やっぱり鳥栖市はもうちょっとこういったことをやるべきですよ、部長、課長、とかいうふうな、観光を専門とした職員は、まずいるんですか。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

観光を専任とした職員はおりません。

観光事業も兼務で行って、ほかの事業も担って、行っておる状況でございます。

#### 西依義規委員

今日、いろんな意見が出たじゃないですか。

それを誰が受けて、どういうふうに反映されるのか、例えば、皆さん、もうちょっとこうしたほうがいいのか、ああしたほうがいいっていうのは、どういう形で……、例えば、係のほうか商工振興課で、まず今の意見を聞いて、取り入れられる範囲だったら、コンベンションに言って、コンベンションから変更されるのか。

結局、社会福祉協議会とか商工会議所とかと一緒に、観光に関してあんまり口出せないような気がするんですよ。

ほぼほぼ、観光コンベンションさんなんで、私は、もうどうせだったら直営で、観光を主務というか、観光を係としてしっかりするのを——それにももちろん農林の一部を頂いて、先ほど言った河内ダム周辺、そういったのを何か検討されたことってありますか。

ここでも大分言ってると思うんですけど、部長、その辺どうですか。

今、もちろん、前市長がされて、よかった部分もあると思うんですよ。

民間に投げて、要は、まずコストが相当下がって、それはよかった部分もあったけど、これ、コストの問題だけじゃないけん、本気で考える問題って、もちろん、スタジアムにしても戻した経緯もあるし、そういった戻すこともありだと思ってるので、その辺は、そういう検討はされたことありますか。

それとも、今後されようとする可能性はありますか。

#### 宮原信経済部長兼上下水道局長

観光につきまして、今、副委員長がおっしゃったようなことで、それに特化して検討といえますか、を行ってはおりません。

それで、今行っております、それぞれのイベントですとか、施設の充実ですとか、そういった

ところに取り組んでおりました、その中で、御利用いただく方が心地よく御利用いただけるよう、維持管理をきちんとしていくことによって、来客数等も増えていくのではないかとというのは考えているところです。

ただ、今、様々な御意見を頂いた中で、情報発信のやり方ですとか、そういったところにつきましても、観光コンベンション協会も含めまして、本市の商工振興課、農林課も含めまして、情報共有しながら、有効な情報発信に努めていかなくちゃいけないのではないかと、改めて考えているところでございます。

以上でございます。

#### 西依義規委員

今日、タイミングがよくて、私、鳥栖工業の野球の試合見てたんですよ、NHKで。

で、あそこ、ふるさとの自慢があるじゃないですか、1分間ぐらい、30秒ぐらいかな。

あれに出たのが、中央軒のうどんと久光とサガン鳥栖なんですよ、3つ。

もちろん短い中で、NHKさんが編集して、鳥栖のこれっていうあれが——何千万人見たか知らんですよ。

だけど、そこにやっぱり、要は、観光コンベンションさんとか観光がしてる部分は入ってないですよ。

だけん、そうやってNHKさんが編集するのに、要は、特化せんということは、やっぱり響いてないってことなんで。

河内ダムの周辺整備、今回我々が所管事務調査をして、ここを、もう、がちっと筑紫氏遺跡からコカ・コーラボトラーズ市民の森から栖の宿まで、そういう一大拠点にすべく、今回我々もこれを所管事務調査に持っていったら、例えば、農林課もいらっしやってるんで、コカ・コーラボトラーズ市民の森、毎年もらいよるじゃないですか。

もらうのはいいと思うんですよ。

ただ、鳥栖市に絵があるかどうかなんですよ。

鳥栖市が市民の森をこうしたいと、こういう絵があるから、コカ・コーラさん、これぐらいくださいとか。

じゃないと、もらった額でちょこちょこちょこ整備したって一緒やけん、私は市民の森は、一番あそこの核となりますんで、そこからどこでも行けるような、そういう絵をまず描いてほしいんですが、その辺は、農林課が描くのか、一緒になってプロジェクトとして描くのか分かりませんが、そういったのって必要だと思うんです。

いかがですか。

#### 楠和久農林課長

市民の森整備、これまで過去何回かに分けて、数年間かけて整備を行ってきたところがございます。

ただ、現状、なかなか原形復旧とか、これまでに設置したものを改修を行ってきたというのが実情ではございます。

ただ、おっしゃるように、あそこの在り方については、現状いろんな課題があるとは認識しておりますので、当然、皆様が訪れやすいような形で、どういった環境の整備を行っていくかっていうのは、検討はしておりますが、まだ具体的なものはないというのが現状でございます。

#### **西依義規委員**

最終的に、委員会で所管事務調査報告書を書いて、委員の皆さんが賛同いただければ、そういった要望もしていこうかなと思いますけど、向門市長の近未来鳥栖の重要施策の6番に、観光交流の活性化・拠点整備で勝尾城、河内ダムや朝日山といった観光名所をブラッシュアップし、観光交流拠点へと整備って書いてあるんですね。

これは選挙の公約に等しいと思うんですけど。

もちろん市長が替わったって、そういう変化でいいことだと思うんで、替わって今6か月、半年になりますけど、この6番について、部で協議したことはありますか、部長。

丸無視ですか、これ。

#### **宮原信経済部長兼上下水道局長**

今おっしゃられました、6番、いろいろな観光拠点をブラッシュアップしていくということについて、そのことについての協議を特化してやったことはございませんけれども、今日も御紹介をさせていただきましたが、それぞれの施設につきましては、今年度も市民の森につきましても、階段等をせんだって補正予算を議決いただきましたけれども、そういったことで、それぞれの施設のトイレですとか、そういった階段ですとか、それぞれの施設につきましては、ブラッシュアップをさせていただいてるところだということで、認識をしてるところでございます。

#### **西依義規委員**

それ、多分市民には伝わらんとしますよ。

それで、今市長が替わって、ブラッシュアップされたかなっていうのを、多分、どこも思わんというか、ブラッシュアップって、まあまあ磨かんといかんと思うんで、せっかく公約なんで、それをチャンスと思って、ぜひしていただきたいと思います。

#### **江副康成委員**

今、副委員長のほうから、非常に、政策的にっていうか、積極的に進めていきたいと、非常にいい意見だなと思いつつ聞いておったんですけど。

例えば、私さつき、鳥栖とりつぶ、野下議員のほうから、このままじゃという話のときに、幾

つか言いましたけど、政策的にいうと、例えば、鳥栖で、高橋義希さんとか岩坂名奈ちゃん、親善大使ですかね、そういう方もいらっしゃるれば、旅で、タモリさんもいれば、前川清、いろんなところで旅の番組とかあるじゃないですか。

そういったところにいかに絡んで、鳥栖市の魅力をそういう人たちに伝えていただくか、そういうふうな取組を、ぜひしたほうがいいんじゃないかなあと。

NHKの高校野球の1コマ、ちょっとされておるけど、どういう旅をしようかなと思ってる方が見るような番組も多々あるから、積極的にそういうやつにチャレンジする、そういう施策というのは、考えられるんじゃないですか。

いかがでしょうか。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

そういった注目がある方等の協力を得てっていうのは、確かにいいアイデアだと思いますし、今、SNSとかで情報発信が多種多様になって、それを基に人が集まるっていう状況だと私は思ってます、先ほど西依議員が言われたような部分についても、まずは情報発信が肝なんだろうなっていうふうに認識をしております。

その中で、そういった方々のコメントだとか、先ほどもちらっと言われましたけど、実際に行かれた方の体験談だとか、そういったものを、そういったSNSで発信をさせていく仕組みというか、そういったものが結構ポイントになってくるのかなっていうふうな感じがしております。

#### **江副康成委員**

もう一点、コカ・コーラの市民の森、あれを絵を描いてやると、まさしくいいことを言われているなと思ってるんですけど、コカ・コーラさんはコカ・コーラさんで、長らく鳥栖市のほうに貢献してもらってるから、ますます伸ばしていただきたいんですけども。

あと1つ、アサヒビールが鳥栖に来られるじゃないですか。

で、カーボンニュートラルを超して、カーボンネガティブという形で取り組むと言われておまして、先ほどの災害の報告の中にも、広域林道の話とか、使えない広域林道をどうするのかという話で、根本的には、やっぱり山が死にかけてるっていうか、生き返らせないといけない、で、カーボンネガティブにするためには、木を60年サイクルと考えたら、植えて、大きくなったら切って、また植えると。そういうサイクルがあって初めて、カーボンニュートラルはネガティブになってくると。

だから、そういうところの、特にアサヒビールさんは、商工振興課、同じ所管でもあるし、そういうアサヒビールさんのビジョンと、鳥栖市の山の復活、広域林道は観光の面も兼ねてだと思ってるんですけど、そういったところのいいチャンスと思って、鳥栖市の描くいきいきとした山の様子と、アサヒビールさんの考えられてるカーボンネガティブ、その辺りの政策のすり合わせを今



久保山日出男委員長

再開いたします。



## 産業政策（新産業と雇用の創出、産業振興等）について

久保山日出男委員長

次に、産業政策（新産業と雇用の創出、産業振興等）についての説明をお願いいたします。

古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

産業政策（新産業と雇用の創出、産業振興等）について、資料の9ページをよろしいでしょうか。

まず、鳥栖市の産業政策全般に関する取組と、昨今の雇用の状況という表題で書いておりますけれども、取組といたしましては、工場立地法によります緑地率を、法の下限にするためには条例制定が必要でございましたけれども、令和3年度に条例を制定させていただきまして、工場立地法の緑地率を緩和したところでございます。

目的と内容につきましては、御覧のとおりでございまして、この条例制定を機に、市内の5社が緑地率の緩和を活用されまして、新たな設備投資を行われたという実績がございまして。

次、10ページをお願いいたします。

企業立地奨励金制度がございましてけれども、これの見直しを行っております。

これまで製造業に重点を置いた奨励金制度でございましたけれども、IT企業関連への奨励制度を拡充をいたしまして、併せまして、本社機能移転であるとか、研究開発部門の移転とか、そういったものへの奨励制度っていうものを創設をいたしたところでございます。

そういった奨励制度の改正をしたことによりまして、それを活用されて、令和3年度に情報通信業で1社、令和4年度に情報通信業で2社、本社機能移転——これは研究開発部門なんですけれども、移転で1社という実績となっておりますところでございます。

次の11ページをお願いいたします。

その他の取組といたしまして、よく、製造業も含めてなんですけれども、IT企業のほうからは、市内に誘致する際に、特に、人材が見つかりますかというような御要望というか、御心配というか……、九州であれば福岡市にIT系の関連企業が集中しているというような状況もあって、人材も福岡市に集中をしたりしておるといふようなところを心配をされて、鳥栖で人材が集まるでしょうか、というような御心配等を受けることがございます。

で、その解消というわけではございませんけれども、その1つになればということで、関連する学校と鳥栖市とで連携協定を締結をいたしまして、市内に誘致しましたIT企業からの特別授業であったりとか、そういったIT企業にインターンシップを受け入れてもらったりだとか、あとは、そういった誘致企業の会社の案内のパンフレットを設置をしていただいたり、職場説明会の際に読んでいただいたりというようなことに取り組んでおります。

具体的な学校名は、こちらに記載しているとおりでございます。

鳥栖商業、それから、福岡市内の各専門学校、それと、久留米高専。

で、こういったこともございまして、実績といたしまして、今年の4月から、鳥栖商業の卒業生が3名、この市内の誘致企業のほうに就職をしていただいたという実績がございます。

次、12ページをお願いいたします。

昨今の雇用状況ということで、商工振興課のほうで把握をしておる数字を挙げさせていただいておるところでございますが、平成30年度から令和4年度前までの進出協定締結企業。

その際に事業計画を提出していただくわけなんですけど、その事業計画に基づきます雇用計画、これの雇用人数——配転者も含みますけれども、その人数を書かせていただいているところがございます。

平成30年度から令和4年度までで、合わせまして13社と協定を締結しておりますが、こういう新規雇用計画といたしましては、800名程度ということで把握をしておるところでございます。

次、13ページをお願いいたします。

鳥栖商工会議所等の産業政策の取組でございますけれども、商工会議所のほうには補助金を助成しておりまして、中小企業相談所を設けていただいております。

これにつきまして、商工会議所の会員の企業さんだけではなく、そうでない事業者の方、個人事業主ももちろん含みますけれども、そういった方々からのあらゆる経営に関わる相談に応じていただいております。

令和4年度の実績といたしましては、御覧のとおりでございます、7,700件ほどの延べの実績となっております。

それから、この間の6月定例議会で議決いただきましたけれども、空き店舗等活用支援事業といたしまして、これにつきましては、発端といたしましては、商工会議所のほうから、中心市街地の空き店舗への創業者に対して補助ができないだろうかというような要望がございましたものですから、それを基に検討を行って、実施をしたものでございます。

対象物件、それから、補助内容については、もう御承知のとおりかと思っております。

以上でございます。

**久保山日出男委員長**

ありがとうございました。

この件に関しまして、質問のある方はお願いいたします。

#### **江副康成委員**

10ページ、赤字で書いてるところ、本社機能の移転、令和4年度、これは昭栄化学さんだと思  
うんですが、令和3年度の情報通信業、令和4年度の2件、これは、どことどことどこな  
んですか。

#### **香月啓介商工振興課企業立地係長兼産業団地推進室産業団地推進係総務主査**

お答えいたします。

まず、本社機能の分ですけど、これは、研究施設ということで、久光製薬株式会社さんにな  
ります。

令和3年度の情報通信業の1社につきましては、株式会社テクノネットワークさんになります。

令和4年度の2社につきましては、株式会社福岡情報ビジネスセンターと株式会社アイティエ  
スの2社になります。

以上です。

#### **江副康成委員**

ありがとうございました。

それで、次のページ、人材の安定確保と育成ということで、市内の鳥栖商業及び福岡のこう  
いう学校と提携してるということで、若い方が鳥栖市のほうに働き場を求めておられるのは、本  
当にいいなと思って。

よく、保育士さんとか、鳥栖で育てた方が、賃金格差で福岡に引っ張られていなくなっ  
てしま  
うというような、その逆のパターンのように見えますけれども、そうなった場合に、この賃金  
とか、結構福岡の企業と鳥栖の企業、私もUターンで帰ってきたときに違うよという話だっ  
たんだ  
けど、そういったところの賃金格差で、ネックになるじゃないけど、なってる部分はないの  
かな  
というのは、お聞きしたいんですけど。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

福岡県と佐賀県では、おっしゃられるとおり、最低賃金も違いますし、そういった面  
で  
ネック  
になっているということも、あるんじゃないかと思っています。

#### **江副康成委員**

そういったときには、雇用助成金じゃないけど、せっかくIT企業を誘致して、人材も  
いるよ  
という形で来てもらって、きちんとした確保をするときには、政策的に底上げとい  
いますか、調  
整金を入れたりとか、そういう施策も今やられてるのか、あるいは、今後はや  
っていくのか。

その辺りはいかがでしょうか。

**香月啓介商工振興課企業立地係長兼産業団地推進室産業団地推進係総務主査**

奨励金の制度で、雇用奨励金というのがございまして、鳥栖市内の方を雇っていただいた場合に、1人当たり20万円を交付しますっていうような制度がございまして、そういったところでインセンティブを持たせているようなところでございます。

以上です。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

**齊藤正治委員**

今、味坂関連で、一つの産業団地が出来てますけれども、これをずっと南のほうに下っていけばいくほど、ハザード、浸水地域が高くなってくるっていうことで、その後どうしようと思っただけあるのかっていう考え方は、分かりますか。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

それは、スマートインターチェンジの県道アクセス道路の南側をどうするのかっていうことでしょうか。

**齊藤正治委員**

南側じゃなくって、恐らく南のほうに行くには、ハザードでずっと引っかかってくる可能性が非常に高いということになると、上のほうに行かないかと。

だから、鳥栖市の自然豊かな環境をどういうふうを活用して、新しい産業団地を、特に情報産業とかそういったもの、今脚光浴びてますんで、そういったことも含めて、もう少し、34ヘクタールじゃなくて、やっぱり、アサヒビールぐらいじゃなくて、その倍ぐらいの団地を造っていく必要があるのではなかろうかと思っておりますけれども、その点についてはどうですか。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

今、おっしゃられる約34ヘクタールのところについて、取組を行っておるわけでございますが、そのほか、今後というわけではございませんけれども、都市計画課のほうで運用を始めております地区計画制度によりますと、インターチェンジから半径1キロメートル、それから、新鳥栖駅から半径1キロメートル、こちらにつきましては、産業系の地区計画を打てるというような運用基準になってるかと思っております。

ですので、それを基に、民間事業者から、そういった産業系の立地を想定した開発を含めた、地区計画制度を活用した開発になりますけれども、そういったところで話が来ている状況もございまして。

そういったところにつきましては、ちらっと、ハザードではないんですが、優良農地等もあるものですから、そういったところの農振除外、農地転用手続等について、市のほうでもどういっ

た取組ができるのかとか、話が来た場合には、そういったところを検討しておるという状況もございまして、市のほうで、小郡鳥栖南スマートインターチェンジよりもさらに規模の大きいものについて、今の時点からスタートさせるとかいうことってというのは、今のところ検討してないとか、考えてないっていうところでございます。

#### 齊藤正治委員

こういう質問をなぜするかというと、西新町がありますよね。あそこに今民間業者がずっと入ってきて、土地をずっと買ってるわけですよ。

何するか分からないという状況があって、恐らくこのままずっといけば、そういうふうな投資目的、何をするか分からんような、そういうのがずっと山間部に入ってくる可能性が非常に高い。

それで、結局は乱開発になっていくというようなことになりかねないわけですので、できるだけ、今都市計画課が出している、どこを拠点に1キロメートルとか何とかっていう、その程度じゃなくて、やっぱり、全体的に鳥栖市を見渡ししながら、もうちょっときちんとした、そういった団地を造っていくということを考えていく必要があるのではなからうかというふうに思っております。

それと、もう一つは、アサヒビール園は、もう取りやめになったんですか。

ビール会社そのものがやめたということですか。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

アサヒビール園につきましては、アサヒビールからは、飲食部門については撤退をしますというように伺いまして、竹下でございますアサヒビール園ですけども、10月までをもって閉店をしますということで、アサヒビール自体が、飲食業から全て撤退をされるというふうに聞いております。

大規模の産業団地につきましては、大規模な産業団地を計画したからといって、そういった乱開発が収まるかっていうと、収まらないんじゃないかなというふうに、私は考えます。

なぜかといいますと、鳥栖につきましては、地理的優位性もございますので、そういった需要がある地域でございますので、器を設けたといたしましても、そういった業者の方は、そういった乱開発という言い方が正しいかどうか分かりませんが、そういった山間部だとか、そういったところを購入するっていう機会は減らないんじゃないかなというふうに考えます。

#### 齊藤正治委員

私が聞いているのは、乱開発の問題が主じゃなくて、鳥栖市に、今の味坂インターに次ぐ、それから先どうするのっていう話の中で、そういったところ、山間部を、やっぱり、もっと全体を見渡ししながら、産業団地を造っていく必要があるのではなからうかということを申し上げてる。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

おっしゃられていることは理解できました。

現在、鳥栖南スマートインターチェンジの県道北側34ヘクタールのところについて取組を行ったばかりでございますので、その状況を踏まえながら、そこは検討していくべきなんだろうなというふうに感じました。

#### 久保山日出男委員長

ほかに。

#### 西依義規委員

今回の所管事務調査、どうまとめようかって、結構、産業振興もいろいろやられてることはやられてるんで、それを引き続き委員会としても支援するというのか、いやいや、ちょっと待てよと、もうちょっとこういうふうにしたらどうか、というふうにするのか迷うんですけど。

例えば、この間、久光さんが研究施設を新設されましたよね。

鳥栖って、今までも、そういうシンクロトン光や、産総研や、研究施設はいっぱいあるんですよ。

で、この間、久光さんの来られる方からお話を聞きました。

そうしたら、今、つくば市の学園都市から、結構民間も引いてると、もう魅力がなくなったと、国の施設はまだありますけど。

あちらこちら集積はしてるけど、久光さんはつくば市から鳥栖市に来られるんですけど。

例えば、鳥栖がブランディングとして、鳥栖はもう研究都市なんだというふうにブランディングするために、市役所でやれることってありますか。

例えば、産官学の連携とかよくあるじゃないですか。

例えば、企業同士を結びつけるとか、その中間的、事務局的作用をするとか、何かそういう新たな……、せっかく来ていただいた企業、今後も研究施設に来ていただく、そういう知の部分で、ちょっとした連携の団体とかをつくるとか、そういうブランディングとして、それは多分、企業誘致にもつながると思うんですよ。

そういう動きって、可能性ありますか。

部長、次長、どちらでもいいですけど。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

おっしゃられるとおり、研究拠点が幾つも、これだけそろってるっていうところはあまりないかというふうに、私も認識をしてますし、久光さんの開発拠点も、鳥栖に集約をされるということでございますので、ほかの開発拠点も、先ほど企業誘致のことで、IT企業であったり、そういった研究開発部門の誘致にも力を入れたりということがありますものですから、そういった事業所が増えてくれば、おのずとそういった声が出てくるんだと思ってるんですよ。

そうなれば、そこを取りまとめるべく、私たち市役所のほうも、どういった連携の方法が必要なのかというのは、そのときに考えていかなくちやならないというふうに思いますので、そういった部門が集約化されていくことによって、研究都市宣言とかがいいのかは分かりませんが、そういった下地が出来上がってくるのかなというふうに思います。

#### 西依義規委員

順番はどっちかだと思います。

だけど、つくば市がどっちをしたかといったら、逆ですよ。

つくば市は、ど田舎に大学をつくって、国の研究施設を造って、そうしたら民間は、そこに行ったら何かありそうと思って、寄ってきたんですよ。

だから、やり方は、シンクロトロンと産総研、もう今十分あるんで——だからって物流と交通を外す必要はないと思うんですよ。

筑波研究学園都市だったら、鳥栖を研究産業交通都市とか物流都市とか、そういうふうにブランディングを考えていくのが一つ。

もう一つ、また市長の公約に戻りますけど、市長のおっしゃってるように、7つの都市づくりの6番で、躍進への産業構造改革へ、新たな工業都市の礎へ、最先端技術のものづくり企業やクリエイティブ産業の誘致、これはどうやってやるんですか。

市長に聞いたことないけど、担当課としてこうやったら誘致できそうな……、そういう意味でも、私はブランディングとかが一番、市がやれそうな……、わざわざ市が東京まで行ってするよりも、そっちの礎を何かしたほうがいいと思うんですけど、何かこれに対して、今、部とか課で検討したことがありますか。

市長の7つの都市づくりの1つについて。

#### 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長

そこに特化した検討っていうわけではございませんけれども、先ほどお話が出ました鳥栖南スマートインターチェンジ周辺の産業団地の開発のところには手がけているわけでございますけれども、そこで、どういった企業を立地させるか、そういったところに結びつけていきたいというふうに、担当課としては思っています。

#### 西依義規委員

分かりました。

#### 久保山日出男委員長

ほかに。

#### 江副康成委員

副委員長のすばらしい質問に触発されて、またさせてもらってますけれども、例えば、IT人

材を育成するような学校、あるいは、企業といたしますか。

そういうところを誘致するのも、この企業誘致というか、所管だと思われているのかどうかというのを、まずお聞きしたいんですけど。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

学校の誘致は違うかとは思いますが、先ほど申し上げたIT企業の誘致の中で、誘致に行きますと、そういったIT関連のオフィスと一緒に、併せてIT関連の教室をやりたいとか、そういったことをおっしゃられるところは多々ございますので、そういったところと一緒に支援してやっていきたいというふうに思っています。

#### **江副康成委員**

先ほどの西依副委員長のお話の中にありました、大きな研究機関がありますというところは、連携して、鳥栖市も入ってずっとやっておられるわけですね。

商工振興課であれば、産総研の御担当で、サイエンスカフェとかずっとやられて、今、コロナで中断してると思いますけど。

そういったところが、鳥栖市ならではという形で、それこそ、量子医療推進拠点整備構想等という形で、今立ち上げられようとしてるわけですよ。

それは所管だと思われるかどうかというのを確認したいんですけど。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

量子医療推進機構につきましては、4者連携協定から発展をしたものの一つかなという認識をしております。

で、担当課としては、総合政策課と商工振興課になるかと思いますが、そのどういった部分ですか。

量子医療機構のどういった部分をおっしゃって……、その担当課がどこかということによろしいですか。（「今の答えでいいですよ」と呼ぶ者あり）

以上でございます。

#### **江副康成委員**

総合政策課も含んだところで、商工振興課も自分のこととして考えているという御答弁だというふうに、私は理解したんですけども、その中で、次世代のソサエティ5.0と。

次世代のデータセンター、高速ネットワークを利用して産業をやるということで、データセンターの誘致は所管じゃないのかなと思うんですけども、その部分に対してはいかがですか。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼産業団地推進室長**

確かに、データセンターを誘致するという方針になれば、担当になってくるのかなと思います。

#### **江副康成委員**

それで結構です。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、この件に関する質疑を終わります。

以上で所管事務調査を終わります。



**久保山日出男委員長**

以上で本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、建設経済常任委員会を閉会いたします。

**午前11時54分散会**

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会建設経済常任委員長 久保山 日出男

